

2023 年度

研修会報告

◇ 第 1 回研修会 : 6 月 10 日 (土)

13 : 30 ~ 15 : 30



トウエットさん サンパットさん

(1) テーマ : 「多文化理解を深めるー外国人講師との対話を通して」

- ・講師の日本語学習経験と学習を通して日本語学習支援者に伝えたいこと
- ・生活の中で感じる文化の違いやその対処法、等

(2) 講師

◆トウエットさん (ベトナム出身)

ベトナムの日系企業で 10 年間勤務。 本社研修 (宝飾関係) のため 1 年間の予定で来日 (7 月に帰国) 。 家族をベトナムに残して単身赴任中。 昨年 12 月、N2 合格。

◆サンパットさん (スリランカ出身)

来日 10 年。 自動車関係の仕事をしている。 家族は妻と娘 (3 歳) 。 日本語は県国際交流センターの日本語教室に 1 年ほど通い、その後は仕事を通じて学んだ。

(3) 会場 : 遊亀公民館 (甲府市総合市民会館 2 階) 講義室



進行係 伊東さん



(写真：丹沢、報告：稲谷)



2023年度 第1回研修会報告

薩川章江

トウエットさんは、ベトナムにある宝石関係の日系企業の社員で、10年間勤務されています。山梨本社での研修のために一年前に来日されました。ベトナムにご主人と二人のお子さんがいらっしゃいます。

日系企業で働き始めたときは、日本語が全くわからなかったそうですが、仕事をしながら自分で勉強し、来日してから、ボランティアの先生の助けを得て、日本語能力試験 N2 にも合格されました。

日本語では特に、あいさつのことばと、敬語の使い方が難しいと感じているそうです。日本では、目上・目下だけではなく、ウチとソトのことばの使い分けもあるので、適切な表現が使えるようになりたいとのことでした。

来日当初は、日本人の話すスピードが速くて、スーパーで「袋はお持ちですか。」などの店員さんのことばが聞き取れないこともあったそうです。

日本の文化では「生け花」に興味を持っているとのこと。「中心の花を周りの葉が支えている」と聞いて、ビジネスでも、チームワークの大切さを知るのに役立ったと話されました。

もうすぐ一年間の研修を終えて帰国されますが、日本での経験を活かしてこれからも日本語の勉強を続けたいとのことでした。

大勢の日本人の前で話すことは、緊張されたことと思いますが、丁寧に受け答えされる様子がとても印象的でした。帰国されてもさらにご活躍されることをお祈りします。

スリランカ出身のサンパットさんは、車についての技術を身につけるために十年前に来日し、山梨で自動車整備や中古車販売などの仕事をされています。日本で大型免許も取り、遠くまで車を

運搬することもあります。スリランカでは日本の中古車はとても人気がありますが、今は国の事情であまり輸入できないそうです。

日本へ来たばかりの頃は日本語が全然できませんでしたが、仕事の合間を縫って、ボランティアの先生に習ったそうです。奥さんと幼稚園に通うお子さんの三人家族で、現在は奥さんが日本語を勉強中です。

スリランカと日本の違いは、日本では交通ルールがよく守られていること。スリランカではあまり守られず、クラクションを鳴らしながら運転せざるを得ないこともあるようです。

日本語では、あいさつのことばの多いところが面白いと思うそうです。「いただきます」「ごちそうさまでした」の食事の前後のあいさつのことばは、シンハラ語にはないそうです。

スリランカは80%が仏教徒の国で、一年中だいたい同じ気候で、とてもきれいなところだそうです。

山梨は住みやすいところなので、これからもここで働き、家族と一緒にずっと住み続けたいとのことでした。

サンパットさんご家族が、山梨の地でこれからも充実した生活を送られることを願い、また私たちも何かお手伝いできることがあればいいと思います。